

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、2期目を迎えるルセフ政権の経済運営に対する不透明感と、米中間選挙において共和党が勝利(上下両院で過半数を獲得)したことによるドル高を背景に、レアル安地合いが継続。一時2.53台手前まで上昇した。ボベスパ株式指数は前日比1.3%安まで下落。ペトロブラスによる国内燃料価格の引き上げについて、同社取締役会で具体的な引き上げ時期と比率が公表されなかったことが重石となっている。

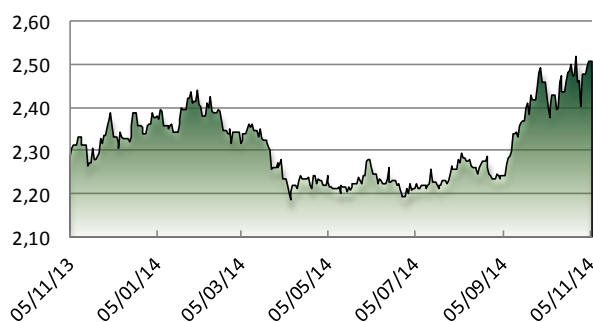
マンテガ財務相の後任人事について、ルセフ大統領は昨日、その選定作業が11月15-16日に開催予定のG20以降になることを示唆した。現ブラデスコCEOのTrabuco氏の辞退を受け、現在の候補者は前中銀総裁Meirelles氏、ルラ政権時代に財務次官を務めたBarbosa氏の2名に固まりつつある。マーケットは市場からの信頼が厚いMeirelles氏が指名されれば、市場寄りの政策が採用される可能性が高まり、よりポジティブな反応が期待できると予想している。また、今後の為替介入プログラムの継続性についても注目が集まっているが、現時点では年末に到来する期限を延長するとの見方が優勢である。しかし、4日から始まった12月初旬が期限の通貨スワップについて、現行の4.5億ドルの日次ペースでのロールが続き、月末のロールが実施されないと仮定すると、17億ドル程度がロールオーバーされない計算となるため、市場では、「中銀は現在の2.5レアル前後の水準を警戒しておらず、今後徐々に介入ペースを緩和していく」との観測も見られる。悪化する経済ファンダメンタルズを受け足許ではレアル安が進行しつつあるが、ルセフ政権がどのような対策を取るか、引き続きその動向を注視する必要がある。

マーケットデータ

Indicator	Unit	11月4日	11月5日	前日比	10月3日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	45,40	45,74	+0,34	44,65	+1,09
USD / BRL Spot	BRL	2,4956	2,5078	+0,0122	2,4584	+0,0494
USD / JPY Spot	JPY	113,60	114,64	+1,04	109,76	+4,88
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	54.384	53.698	-686	54.540	-842
CDS Brazil 5yrs (クレディットデフォルトスワップ)	bps	163,2	162,2	-1,0	174,7	-12,5
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,35	12,28	-0,07	12,09	+0,19
DI Future Jan16 (金利先物)	%	12,35	12,32	-0,03	11,91	+0,41
3 Months US Dollar Libor	%	0,232	0,232	+0,000	0,232	+0,000
CRB Index (国際商品指数)	Index	267,5	268,3	+0,8	276,3	-8,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

